チョウを呼ぶまちプロジェクト

家やベランダにチョウを呼ぶためのヒント

名古屋市環境局

チョウを呼ぶまちプロジェクト

最近、身の周りで生きものを見かけることが少なくなったと思いませんか？
名古屋市では、ここ数十年で自然がだんだん失われており、生きものにとって住みにくいまちになってきているのかもしれません。

そんな住みかを失った生きものの一つが、私たちに身近な「チョウ」。
チョウは環境の変化にとても敏感な生きものと言われています。

「チョウを呼ぶまちプロジェクト」は、私たちの庭やベランダなどにチョウが卵を産みつけたり、蜜を吸ったりできるような環境を作ることでここ名古屋市に色々な種類のチョウを呼び戻すプロジェクトです。

みんなで一緒に、チョウを呼んで、探して、観察してみましょう！

チョウの一生

栄養をとるために
花のみつなどを求めて
飛んでいるよ

交尾・産卵

ふ化

木や草の葉っぱを
食べて大きくなるよ。
種類ごとに好きな
葉っぱが違うんだ。

脱皮・蛹化

何回も脱皮を
繰り返して
さなぎになるよ。

う化

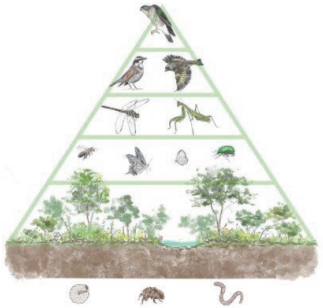
サイクルの
期間は
種類ごとに
異なります。

チョウと生物多様性

生物多様性とは生きものの豊かな個性とそのつながりのことです。
地球上には様々な自然の中に、長い歴史の中でそれぞれの環境に適応して進化した様々な生きものが存在し、相互につながり、支えあって生きています。
チョウを例に生きもの同士のつながりを見てみましょう。

チョウをとりまく環境

チョウは、花の蜜や幼虫の食べる葉っぱなどの植物がなければ生きていくことができません。
また、チョウには天敵が多く、幼虫時はもちろん、成虫になっても、鳥やほ乳類、他の昆虫類に食べられてしまい、**生き残るのはほんの一握り**です。



チョウと私たちの暮らし

チョウが花から花へと飛んでいくとき、その体には花粉がついて一緒に運ばれて行きます。ミツバチやチョウなど花粉を運ぶ生きものを「送粉者」といいます。送粉者がいなくなると、野菜や果物などの農作物の生産に影響を及ぼし、私たちの毎日の食生活も今まで通りにはいかなくなってしまいます。

コラム

地球温暖化でチョウの住む場所が変化！？

最近、地球温暖化が急に進んでいますが、チョウにもその影響が出てきています。例えば、もともと南の暖かい地域にいた「ナガサキアゲハ」が近年名古屋市でも普通に見られるようになりました。他にも、幼虫がパンジーを食べる「ツマグロヒョウモン」もその可能性が高いと言われています。急な温度変化にチョウやそれ以外の種も追いつけなくなり、さらなる絶滅が危惧されます。

地球温暖化の影響を受けるチョウたち

ナガサキアゲハ

ツマグロヒョウモン

クロコノマチョウ

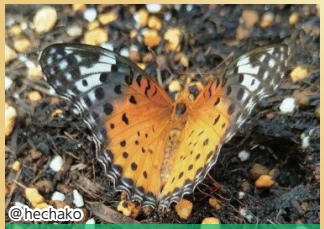
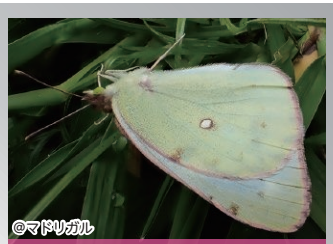
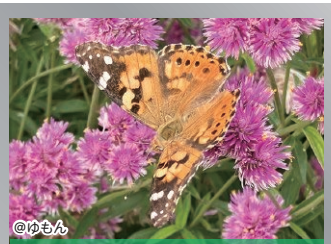
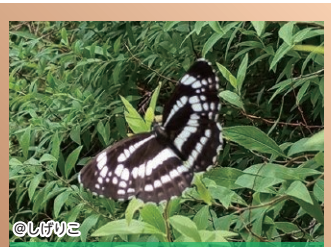
@の表示がある写真は（株）バイオームより提供

「なごやいきものクエスト」チョウの発見数ランキング

名古屋市ではスマホアプリを活用した市民参加型の生きもの調査イベント「なごや　いきものクエスト」を毎年開催しています。
イベントの結果から、名古屋市内で見つかるチョウを見てみましょう。

なごやいきものクエストの
くわしい結果はこちら

チョウは大きく分けて、下の5種類の仲間に分類されます。種類ごと　の発見数ランキングがコチラ！（なごやいきものクエスト2024の結果より）

	アゲハチョウの仲間	シロチョウの仲間	タテハチョウの仲間	セセリチョウの仲間	シジミチョウの仲間
第1位	@めいわゆうが ナミアゲハ	@アスプレニウム モンシロチョウ	 @hechako ツマグロヒョウモン	羽の裏に小さな白点があります @アスプレニウム チャバネセセリ	@吉田栄作 ヤマトシジミ
第2位	@なしむく侍 アオスジアゲハ	 @マドリガル モンキチョウ	 @ゆもん ヒメアカタテハ	羽の裏に大きな白点が並んでいます @S_U_S_U イチモンジセセリ	@シンバナバナナ ベニシジミ
第3位	@吉田栄作 ジャコウアゲハ	@ふさむ キタキチョウ	 @しげりこ ホシミスジ	@にわけんR キマダラセセリ	羽には尾状突起とオレンジの紋があります @稲 ツバメシジミ

@の表示がある写真は（株）バイオームより提供

幼虫の食草・食樹でチョウを呼ぼう！（アゲハチョウ、シロチョウ）

チョウの幼虫は植物の葉っぱを食べて成長しますが、チョウの種類によって好きな葉っぱ（食草・食樹）が異なっています。
そのため、食草・食樹を意識しながら、庭づくりを行うことで、ねらったチョウを呼びこむことができる可能性が高くなります。

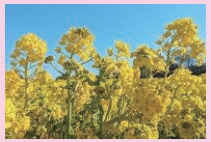
アゲハチョウの仲間

【多くの種類で見られる主な特徴】
・比較的サイズが大きい
・羽は黄色や黒色で大きい
・羽の下が細長くのびている

	成虫の見られる時期	幼虫の食草・食樹の例
@めいわゆうが ナミアゲハ	4月～10月頃	ミカン・ユズ・キンカン・サンショウ・カラタチなどのミカン科 ▲ミカン ▲サンショウ
@ふさむ クロアゲハ	4月～9月頃	
@yuzi10432 キアゲハ	4月～10月頃	ニンジン・セリ・パセリなどのセリ科 ▲セリ
@なしむく侍 アオスジアゲハ	5月～10月頃	クスノキ・タブノキなどのクスノキ科 名古屋の「市の木」 ▲クスノキ

シロチョウの仲間

【多くの種類で見られる主な特徴】
・サイズは中型（2～4cm程度）
・羽は白色や黄色
・胴体は細長い

	成虫の見られる時期	幼虫の食草・食樹の例
@アスプレニウム モンシロチョウ	3月～11月頃	キャベツ・アブラナ・ブロッコリー・菜の花などのアブラナ科 ▲キャベツ  ▲アブラナ科の花
@マドリガル モンキチョウ	3月～11月頃	シロツメクサ・ハギなどのマメ科 ▲ハギ類 ▲シロツメクサ
@ふさむ キタキチョウ		

コラム　旅するチョウ「アサギマダラ」

タテハチョウの仲間の一つ「アサギマダラ」は秋口に日本列島を南下して南西諸島や台湾などに向かう旅するチョウです。その移動距離はなんと1,000キロ以上とも言われています。
アサギマダラは、秋の七草としても知られるフジバカマ属の花を好んで吸蜜する特徴があります。
名古屋市でも運が良いと見ることができるかも。

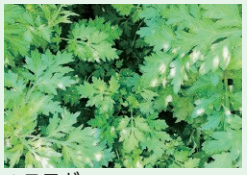
@の表示がある写真は（株）バイオームより提供

幼虫の食草・食樹でチョウを呼ぼう！（タテハチョウ、シジミチョウ、セセリチョウ）

タテハチョウの仲間

【多くの種類で見られる主な特徴】
・一番種類が多い
・大きさも羽の模様も様々
・飛ぶスピードは比較的早い

いきものクエストで一番発見されたチョウ！

	成虫の見られる時期	幼虫の食草・食樹の例	
@hechako ツマグロヒョウモン	4月～11月頃	スミレ・パンジー・ビオラなどのスミレ科	▲タチツボスミレ
@ゆもん ヒメアカタテハ	4月～11月頃	ヨモギ・ハハコグサなど	 ▲ヨモギ
@とっことんキモ太郎 ゴマダラチョウ	5月～9月頃	エノキ・エゾエノキ	▲エノキ

⚠特定外来生物 アカボシゴマダラ
名義タイプ亜種

ゴマダラチョウとよく似たチョウに外来種のアカボシゴマダラがいます。
このチョウは特定外来生物に指定されていて、飼育、保管、運搬等が法律で禁止されています。誤って捕まえてしまった場合には、駆除、またはその場で放つようにしましょう。

ゴマダラチョウと違って、成虫の後ろばねに赤い模様があります。

@バウたん

シジミチョウの仲間

【多くの種類で見られる主な特徴】
・サイズが小さい（1～2cm程度）
・地面の近くで活動することが多い

		成虫の見られる時期	幼虫の食草・食樹の例	
ヤマトシジミ	@吉田栄作	4月～11月頃	カタバミ	▲カタバミ
ベニシジミ	@シシバナバナナ	4月～11月頃	スイバ・ギシギシなどのタデ科	▲スイバ

セセリチョウの仲間

【多くの種類で見られる主な特徴】
・サイズが小さい（1～2cm程度）
・羽は茶色や黒色と地味で、胴体は太い
・飛ぶスピードは早い

		成虫の見られる時期	幼虫の食草・食樹の例	
イチモンジセセリ	@s_u_s_u	5月～11月頃	イネ・ススキ・チガヤなどのイネ科	▲ススキ ▲イネ
チャバネセセリ	@アスプレニウム			

コラム 全国的にチョウが減少している？

国が2005～2022年に実施した里山の生きもの調査によると、チョウ類の評価対象種の33%にあたる34種が急速に減少していることがわかりました。
急速な減少が見られた種の中には、国蝶であるオオムラサキなども含まれています。

オオムラサキ

@の表示がある写真は（株）バイオームより提供

吸蜜植物でチョウを呼ぼう

チョウはエサとなる花の蜜を求めてやってきます。
集まりやすい植物はチョウの種類ごとにさまざまですが、花が咲く時期などが異なる色々な植物を植えることで、長い期間を通してチョウを呼びこむことができる可能性が高くなります。
きれいで育てやすい園芸植物も多く流通していますが、ここでは、昔から名古屋市で見られるような在来植物を中心に紹介します！

春 → 開花する時期 → 秋

3月～5月頃

5月～6月頃

8月～9月頃

9月～11月頃

4月～5月頃

6月～7月頃

8月～10月頃

9月～11月頃

生物多様性緑化ガイドライン

本市では、チョウや鳥などの生きものの住みか・エサ場・休息場所等に配慮した「生物多様性緑化」を実践するためのガイドラインを作成しています。

≪生物多様性緑化のポイント（一例）≫

- 様々な種類の植物を植える
- 木の高さ・植える間隔に変化をつける
- 水辺をつくる
- 花や実をつける植物を植える
- 在来種を選んで植える　など

詳しい手法やおすすめ樹種リストなどはこちらから確認できます。⇒

チョウを探して、観察してみよう

タイミング	天気は晴れた日がオススメです。時間帯は午前中、真夏時は朝や夕方に活動する種類が多いです。
探す場所	花の蜜を吸っていたり、葉っぱに産卵しているときはじっとしており観察しやすいです。そのほかにも、水たまりで水を飲んでいたり、葉っぱの裏で休憩していることもあります。
観察するとき	逃げないようにそっと近づいて観察しましょう。写真に撮るときは、正面ではなく、横から羽の模様などわかるように撮ると、あとから図鑑などで種類を調べるときに便利です。

コラム

生きものの名前がわからない！そんな時はAIに相談

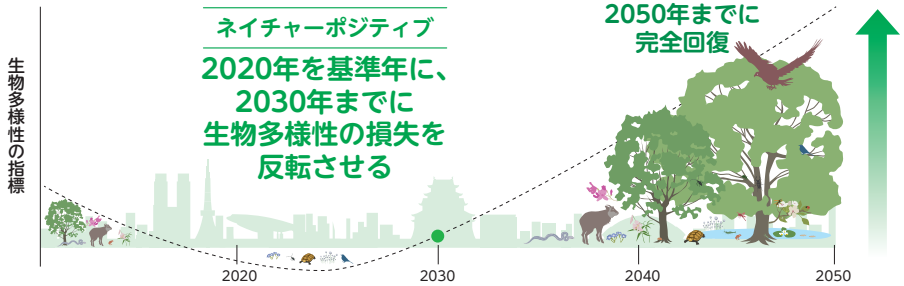
スマートフォンアプリの中には、生きものの写真を撮影すると、AIが種名を判別し、種名を教えてくれるようなものがあり、観察時のサポートツールとして活用できます。
本市が実施している市民参加型生きもの調査「なごやいきものクエスト」もスマートフォンアプリ「Biome（㈱バイオーム）」を活用し、多くの方に参加いただいています。

（提供：株式会社バイオーム）

おわりに

「チョウを呼ぶまちプロジェクト」の目指す先には、生物多様性（生きものの豊かな個性とつながり）を回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」という世界目標があります。（詳細は裏表紙参照）
生物多様性というと、一見難しそうな話のように感じるかもしれませんが、チョウのような身近な生きものを通して考えてみると、生きもののつながりの大切さも、なんとなく身近なものに思えてきませんか？
そして、それを守るために、私たち一人ひとりにもできる行動があるということにも気づくはずです。
あなたも、ネイチャーポジティブという世界的な大きな目標の実現に向けて、楽しみながら「チョウを呼ぶまちプロジェクト」に挑戦してみましょう。

いきもののための2030年までの世界目標
「ネイチャーポジティブ」



なごやネイチャーポジティブ

発行・問い合わせ

名古屋市環境局環境企画課

〒460-8508　名古屋市中区三の丸三丁目１番１号
TEL 052-972-2698 / FAX 052-972-4134
Mail　a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

FSC www.fsc.org
ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C100107